

DMG MORI SAILING TEAM 11月8日スタートまであと55日！

— Vendée Globeへの道 —

皆さま、こんにちは！

「DMG MORI SAILING TEAM」と白石康次郎選手の挑戦をお伝えするメルマガ

『DMG MORI SAILING TEAM -Vendée Globe への道-』の第12号です。

今回は、白石選手が挑戦する世界一周レース「Vendée Globe 2020」について、データ面で予習しておきましょう。



「Vendée Globe 2016」

9月1日に再渡仏。白石選手が挑む「Vendée Globe 2020」をデータでチェック

無事に予選レース「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」を完走し、「Vendée Globe 2020」の出場権を獲得した白石選手は、8月に束の間の日本帰国を果たしました。

今回の帰国で白石選手は、スポンサーの皆さまへのごあいさつをさせていただくとともに、師匠である多田雄幸さんのお墓参りにも行きました。

師匠の墓前で手を合わせ、次は「Vendée Globe 2020」を完走した報告に訪れたいと気持ちを新たにした白石選手は、9月1日に日本を離れ、フランスへと飛び立ちました。



師匠が大好きだった「八海山」を墓前に供え、手を合わせる白石選手。



東の間の日本滞在を終え、成田空港から出国する白石選手。

「Vendée Globe 2020」とは どんなレース？

白石選手が挑戦する「Vendée Globe 2020」は、約2か月半をかけて世界を一周する過酷なレースです。レースがスタートしたら、このメルマガで途中経過をお伝えしていく予定ですが、レースをより多角的に楽しめるよう、今回はデータ面から「Vendée Globe 2020」を紐解いてみたいと思います。

Vendée Globeが初めて開催されたのは1989年。2回目の1992年以降は4年に一度、これまでに8回が開催され、今回の「Vendée Globe 2020」が9回目ということになります。

先ほど、レースの期間をざっくり「約2か月半」と書きましたが、前回大会の「Vendée Globe 2016」の優勝タイムは、大会記録となる74日3時間35分46秒でした。フォイル艇が主流となっている今回も大会記録更新が期待されています。

【過去8回の優勝タイム】

回	開催年	優勝タイム
第1回	1989 - 1990	109日 8時間47分55秒
第2回	1992 - 1993	110日 17時間20分8秒
第3回	1996 - 1997	105日 20時間31分
第4回	2000 - 2001	93日 3時間57分32秒
第5回	2004 - 2005	87日 10時間47分55秒
第6回	2008 - 2009	84日 3時間 9分 8秒
第7回	2012 - 2013	78日 2時間16分40秒
第8回	2016 - 2017	74日 3時間 35分 46秒 (現在の大会記録)

この30年余りで優勝タイムが1か月以上も短縮されたのがわかる。

「Vendée Globe 2020」の出場メンバーは、9月15日時点で、34名。そのうち31名がすでに登録を完了しています。

予選レースの「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」に出場した白石選手を含む20名は、途中リタイアした3名も含め全員が出場します。



Vendée Globe公式サイトの出場者一覧
<https://www.vendeeglobe.org/fr/skippers>

34名のうち、男性が28名で女性が6名。男女が同じ条件で勝敗を競うというのはスポーツ競技では珍しく、そういう視点でレースの行方を追ってみるのも興味深そうですね。

今回Vendée Globeに初めて出場するスキッパーは、34名のうちの半数を超える19名です。最多出場は、5回目となるアレックス・トムソン選手とジャン・ルカム選手。4回目の出場となるジェレミ・ベユ選手は、予選レース「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」で優勝しています。やはり実績がある選手は実力も伴っているのですね。

【出場回数上位者】

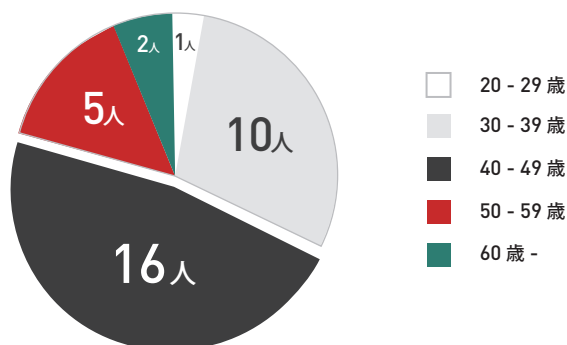
5回目	アレックス・トムソン選手(英)	「Vendée Globe 2016」2位
	ジャン・ルカム選手(仏)	「Vendée Globe 2016」6位
4回目	ジェレミ・ベユ選手(仏)	「Vendée Globe 2016」3位
	アルノ・ボワシエール選手(仏)	「Vendée Globe 2016」10位

この4名はいずれも前回の「Vendée Globe 2016」を完走。トムソン選手やベユ選手は、「Vendée Globe 2020」でも上位での走りが期待される。

ちなみに、ジャン・ルカム選手は、今回出場するスキッパーのなかで最年長となる61歳。最年少がアラン・ルラ選手の27歳なので倍以上です。還暦を過ぎても一線級で活躍できる、息の長いスポーツだということがわかりますね。

全体の年齢分布としては、30代から40代が中心。ちなみに、53歳の白石選手は、上から数えて5番目となっています。

【出場スキッパーの年齢分布】



中心は30代から40代だが、50代以上の選手も7名いて20代よりも多い。

【年齢上位者】

1	ジャン・ルカム選手	(仏)	61歳
2	エリック・ニゴン選手	(仏)	60歳
3	アリー・フーセラ選手	(フィンランド)	58歳
4	セバスティアン・デストルモ選手	(仏/豪)	56歳
5	白石康次郎選手 マニュエル・クザン選手	(日) (仏)	53歳

53歳の白石選手は上から数えて5番目タイ。

振動が大きく、乗り越えずには体力が必要なフォイル艇は、比較的若い世代が中心ですが、50代以上の7選手の中で、今回の「Vendée Globe 2020」にフォイル艇で挑むのは白石選手のみです！白石選手は自分のことを「オールドセーラー」と言いますが、体力ではまだまだ若い世代には負けていません。

今回は、「Vendée Globe 2020」を楽しむためのデータをいくつか紹介しました。最終的な出場者数などの情報が更新されたら、このメルマガで随時お伝えしていきます。Vendée Globeは、完走率が55%（つまり45%はリタイアを余儀なくされる）過酷なレースですが、完走を目指す白石選手への熱い応援を引き続きよろしくお願いいたします。

TUBEから白石選手に贈る応援歌

日本のロックバンドTUBEが7月8日に発表した最新アルバム『日本の夏からこんにちは』に、白石選手の応援歌が2曲収録されているのをご存じでしょうか。

白石選手とTUBEの前田亘輝さんはプライベートでも仲の良い友人で、2007年にも前田亘輝さん作で『旅人 -over the wave-』という応援歌をつくっていただいたことがあります。

今回は「Vendée Globe 2020」に向け、TUBEとして応援歌をつくっていただきました。

このアルバムに収められている全12曲の中の『GOD'S BREATH』と『MY BLUE HEAVEN』の2曲が白石選手の応援歌です。

白石選手が「光に向かって疾走できそう」という『GOD'S BREATH』と、「夢を追いかけていた若いころを思い出した」という『MY BLUE HEAVEN』は、Youtubeでも視聴できるので、皆さまもぜひこの2曲を聴いて、「Vendée Globe 2020」に向けて気持ちを盛り上げていきましょう。



『GOD'S BREATH』

<https://www.youtube.com/watch?v=Tyo9aF9R3LY&>



『MY BLUE HEAVEN』

https://www.youtube.com/watch?v=A_hsJTbKQvM



ビートルズの『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』を意識した賑やかなジャケットが楽しいTUBEの最新アルバム『日本の夏からこんにちは』。

【メンバー紹介】



みたむら たかゆき

三田村 崇之

日本国内広報、スポンサー対応

1984年生まれ。大学時代までサッカーに打ち込み、プロ選手を目指したこともあるという三田村さん。いったんは信販会社に就職しますが、大好きだったサッカーに関わりたいたいという思いから転職、プロサッカーチームの栃木SCやFC東京で広報を務め、FC東京時代は、ロンドン五輪やブラジルW杯の日本代表選手を担当しました。

その後、日本のスポーツマネジメント会社に所属し、2015年から白石康次郎プロジェクトに参加。「日本を元気に明るくしたい」という三田村さんは、日本国内の広報担当として、白石選手のチャレンジを多くの人に伝える役割を担っています。このメルマガ『DMG MORI SAILING TEAM -Vendée Globeへの道-』のメインスタッフのひとりでもあります。



白石選手が海外にいるときも国内で広報を担当。写真は、8月に白石選手が帰国した際の打ち合わせの一コマ。

白石選手からのメッセージ

皆さん、こんにちは。

いよいよ「Vendée Globe 2020」のスタートまで2か月を切り、私はフランスに戻りました。

すでにお伝えしている通り、現在はヨットのメンテナンスをしている最中です。

この号が皆さまのお手元に届くころには、ヨットを水面に下架してトレーニングを再開する予定です。

我々がベースにしているロリアンでは、普段から多くのIMOCAチームが活動していますが、

9月に入ってからはいつも以上に賑やかです。ロリアン沖を三角形に走る「LE DÉFI AZIMUT (ル・デフィ アジムット)」というIMOCAのショートレースが9月10日から12日にかけて開催されているからです。

我々DMG MORI SAILING TEAMは、「Vendée Globe 2020」に向け、しっかりと船を仕上げることを優先したため、このレースには参加しませんが、19名の選手が参加を予定しています。

各チーム共に、無理な走りはせずに、このレースで見えた課題を「Vendée Globe 2020」までに改善していきます。

また、9月17日にはパリで「Vendée Globe 2020」の記者会見が行われる予定で、全選手が一堂に会します。

記者会見の様子は次号でお伝えできるとお思いますので、お楽しみにいただければと思います。

引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

感謝

LE DÉFI AZIMUT

<http://www.defi-azimut.net/en>

白石康次郎



発行元：DMG MORI SAILING TEAM
お問い合わせ：DMG MORI SAILING TEAM <dmgmori_pr@dmgmori.co.jp>

予選レース中の
船内映像も
ぜひご覧ください。

YouTube



DMG MORI SAILING TEAM公式HP

@sailingteamdmgmori

@SailingTeamDMGMORI

<https://sailingteam.dmgmori.com/>



GOLD SPONSOR

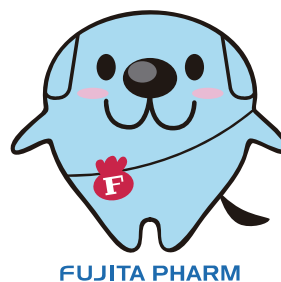


SILVER SPONSOR

GOLDWIN



BRONZE SPONSOR



OFFICIAL SPONSOR



HAIMER



KODEN



医療法人社団 愛友会
上尾中央総合病院
Ageo Central General Hospital